科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
在宅看護方法論Ⅱ	３年次　後期	必修	講義	１単位（３０時間）	本庄　幸代　※

授　業　概　要

在宅において医療的ケアが必要な対象について理解を深め、対象が必要とする具体的な援助方法を学習する。さらに在宅看護過程の一連のプロセスについて事例を用いて体験的に学習する。

到　達　目　標

１．　在宅において行われる医療的ケアと、それに伴う援助方法を根拠に基づいて説明する。
２．　事例の状況に応じた在宅看護過程を展開する。
３．　医療的ケアを受けている在宅療養を支援する際の留意点を述べる。
４．　在宅療養生活におけるリスクと安全管理の方法について説明する。

実務経験のある教員

本庄　幸代：訪問看護ステーションでの現場経験を踏まえ、在宅において医療的ケアが必要な対象への援助方法について概説する。

回	学　習　内　容	担当教員
1-3	１．在宅療養者や家族の状況に応じた日常生活援助と医療処置 １）在宅酸素療法 ２）在宅人工呼吸療法 ３）腹膜透析療法	本庄　幸代　※
4-6	２．医療的ケアが必要な在宅療養児とその家族への看護	内納　静子
7-13	３．在宅看護過程の展開（演習） 医療依存度の高い在宅療養者とその家族への看護	野上　聡子　他
14-15	４．在宅療養生活におけるリスクと安全管理 １）　災害への備え ２）　感染症の予防 ３）　事故防止 ４）　急変時への備え	本庄　幸代　※

学　習　方　法

講義　　演習　グループワーク　小テスト

評　価　方　法

〔評価方法〕
科目修了試験　詳細は初回講義時に提示する。

先　修　科　目

なし

教科書、参考書

〔教科書〕
・在宅看護論　地域療養を支えるケア
ナーシング・グラフィカ　　臺有桂・石田千絵・山下留理子・編　　メディカ出版
・在宅看護論　地域療養を支える技術
ナーシング・グラフィカ　　臺有桂・石田千絵・山下留理子・編　　メディカ出版